



旭川支部

舟橋 馨

Kaoru Funahashi

私も鉄道での旅行が好きです。No.220号の札幌西支部中川雄介先生ほど凝った乗り鉄ではありませんが、車窓を眺めながらの駅弁・ビールは格別のものと思っています。

北海道新幹線が開業する前の、今から2年半ほど前の話になりますが、当時栃木県に住んでいた長男に会いに行くことになりました。いつもは旭川空港から飛行機で往復していましたが、この時は妻を「札幌からは全てグリーン車に乗せてあげるから

JRで行こう!」と説き伏せて、JR旭川駅を8時に出発!札幌まではスーパーカムイの自由席でしたが、札幌から函館まではスーパー北斗のグリーン席、函館から新青森まではスーパー白鳥のグリーン席、新青森から東京までは東北新幹線のグリーン席で行きました。しかし、日没の計算をしておらず、後半は街の灯のみの景色を眺め、10時間くらいかかって東京に着きました。

途中、盛岡駅で秋田新幹線と合流するのですが、列車の連結を見にホームに出て、自分の乗車車両に戻ろうとした時、メチャクチャ豪華な車両を目にし、グリーン車よりグレードの高い「グランクラス」があることを初めて知らされました(鉄道好きの割には無知でした)。この次、新幹線に乗る時は「グランクラス!」と夫婦で話し合い、その機会が訪れたのです。

それが昨年秋、妻と金沢に行くことになり、前回のように旭川からオールJRでは時間とお金がかかるため(ホントは北海道新幹線に乗りたかった)、旭川から羽田まで飛行機で行き、東京駅から金沢までは憧れの北陸新幹線の「グランクラス」に乗車!

ここで、さらに無知さを出して、貧乏性な私はホームで缶ビールを買って乗車したのです。何故無知かという、[「グランクラス」は、ソフトドリンク・ビール・ワイン・日本酒などが飲み放題だったのです。さらに、小さいながらお弁当も付いてくるのです。貧乏性な私はメチャクチャ得した気分になり、元来酒好きでもあるので、ビール→ワイン→日本酒と、金沢に着くまで飲み続けるという、非常にセコイ性格丸出しでした。

北陸新幹線は、金沢行きの先頭車両が「グランクラス」になっていて、座席は18席のみ、グランクラスアテンダントの女性がいて、素敵な気配りで快適に過ごすことができました。



先日、妻と旅行に行きたいという話になり、飛行機好きだった妻も、「グランクラス」に乗ってからは再び乗りたいと言っているので、今度は新函館北斗駅から北海道新幹線の「グランクラス」に乗って、その先どこに行くかは、検討中です。ちなみに、「グランクラス」は、北海道・東北・北陸新幹線にだけ設置されているようです。

お時間のある方は、新幹線の「グランクラス」の旅行、お薦めです。

